

2019年3月期 第3四半期 決算説明会



スープラ
(デトロイトMS出展)

トヨタ自動車株式会社
2019年2月6日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- ◆ 為替相場(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、ロシア・ルーブル、加ドルおよび英国ポンドの相場)、株価および金利の変動
- ◆ 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆ 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ◆ ブランド・イメージの毀損
- ◆ 仕入先への部品供給の依存
- ◆ 原材料価格の上昇
- ◆ デジタル情報技術への依存
- ◆ 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- ◆ 生産および販売面への影響を含む、自然災害による様々な影響

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

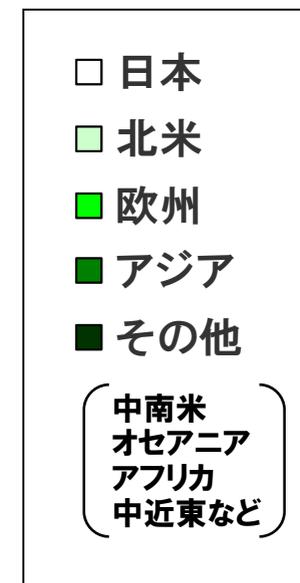
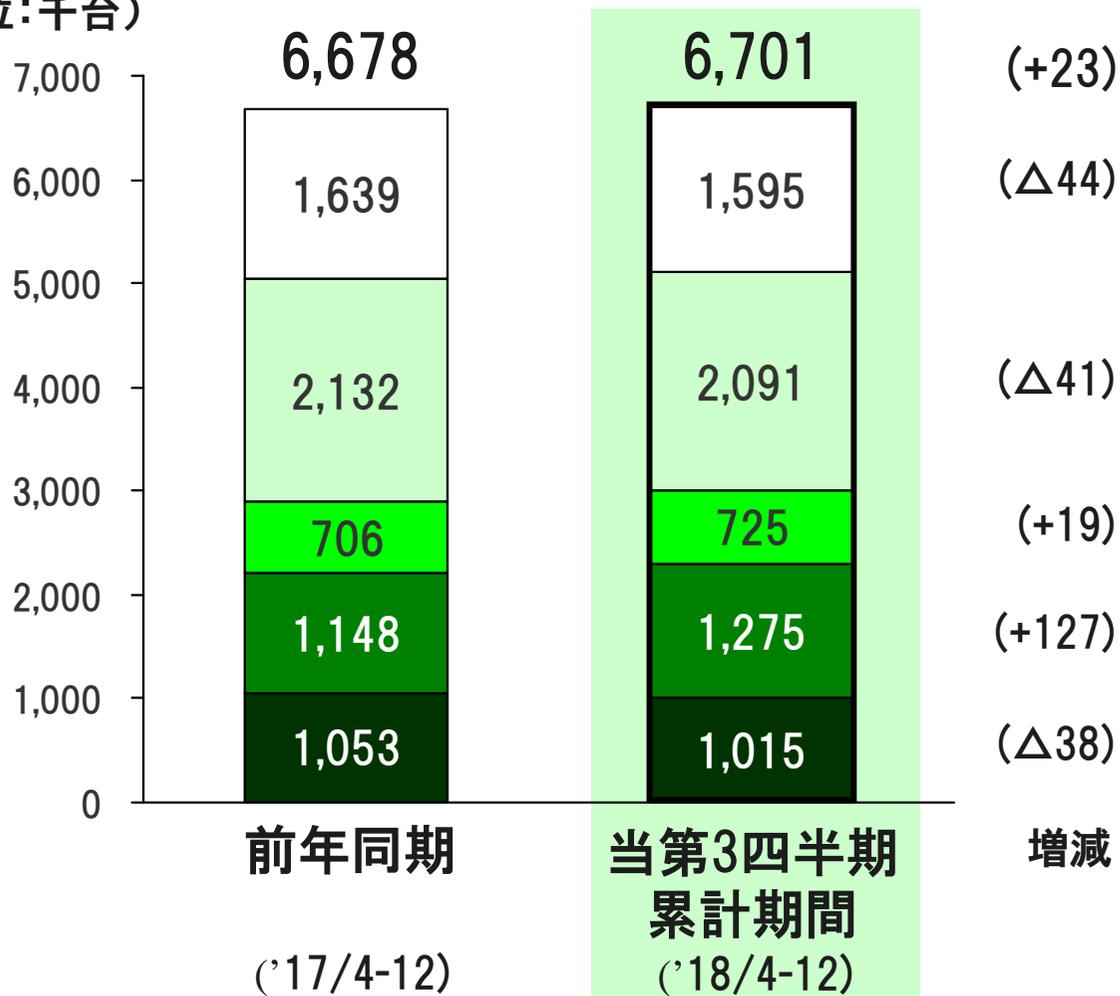
2019年3月期 第3四半期 決算説明会

2019年3月期 第3四半期 実績

2019年3月期 見通し

連結販売台数 (9ヶ月累計)

(単位:千台)



グループ総販売台数 (小売)	7,847	8,000	+153
-------------------	-------	-------	------

連結決算要約（9ヶ月累計）

（単位：億円）		当第3四半期 累計期間 （'18/4-12）	前年同期 （'17/4-12）	増減
売上高		224,755	217,969	+6,785
営業利益		19,379	17,701	+1,677
営業利益率		8.6%	8.1%	
営業外損益		△2,121	2,329	△4,451
税引前利益		17,257	20,031	△2,773
持分法投資損益 *1		2,548	3,588	△1,039
当期純利益 *2,3		14,233	20,131	△5,898
当期純利益率		6.3%	9.2%	
為替	米ドル	111円	112円	1円円高
レート	ユーロ	129円	129円	±0円

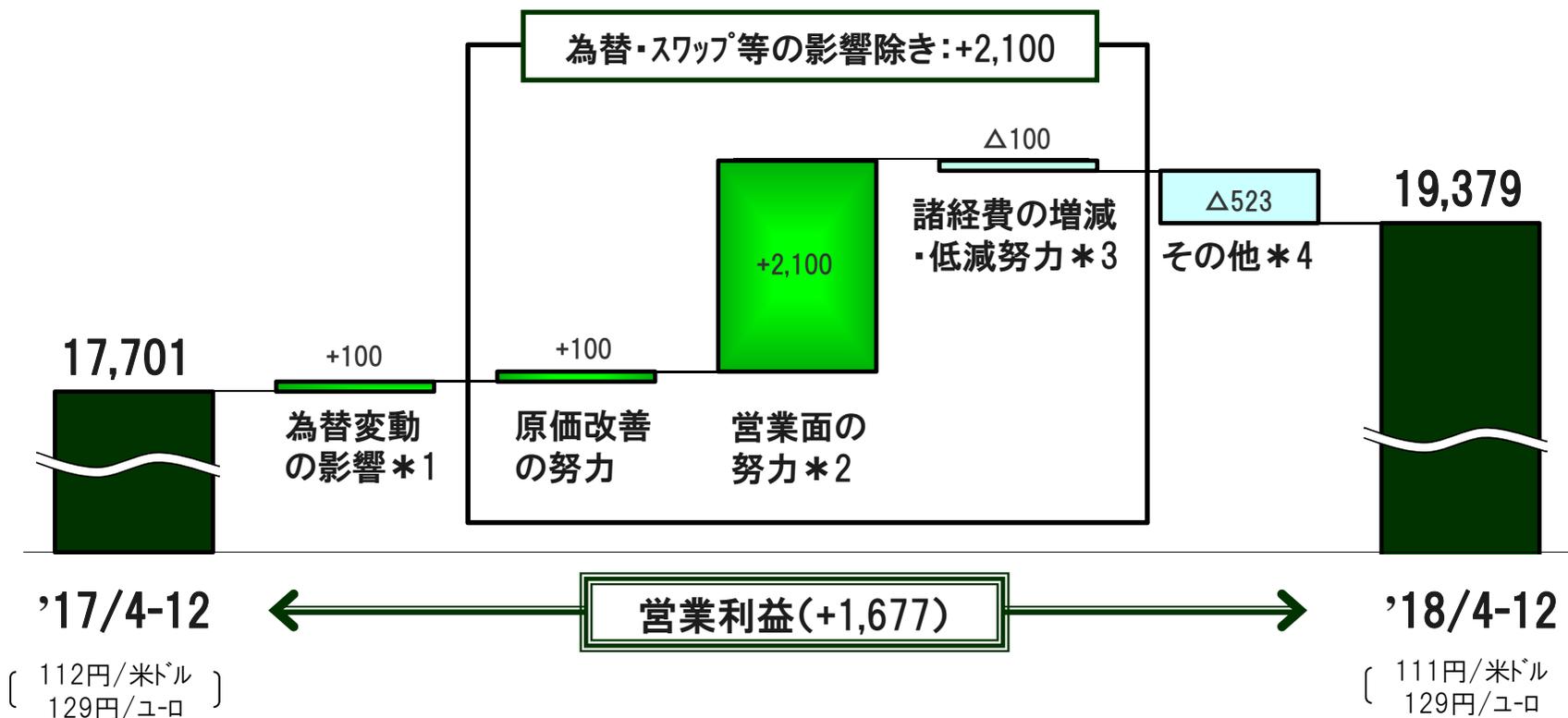
*1 うち、日本1,444（前年同期比△1,075）、中国847（同+77）、その他257（同△42）〔'18/4-12〕

*2 当社株主に帰属する当期純利益

*3 米国税制改正の影響+2,919億円〔'17/4-12〕、
未実現持分証券評価損益の影響△3,100億円〔'18/4-12〕

連結営業利益増減要因 (9ヶ月累計)

(単位:億円)



*1.内訳

輸出入等の外貨取引分	△650	海外子会社の	
(-米ドル)	△150	営業利益換算差	△150
(-ユーロ)	+50	その他	+900
(-その他通貨)	△550	(外貨建引当の期末換算差ほか)	

*2.内訳

台数・構成	+1,200
金融事業	+450
その他	+450
(販売諸費用ほか)	

*3.内訳

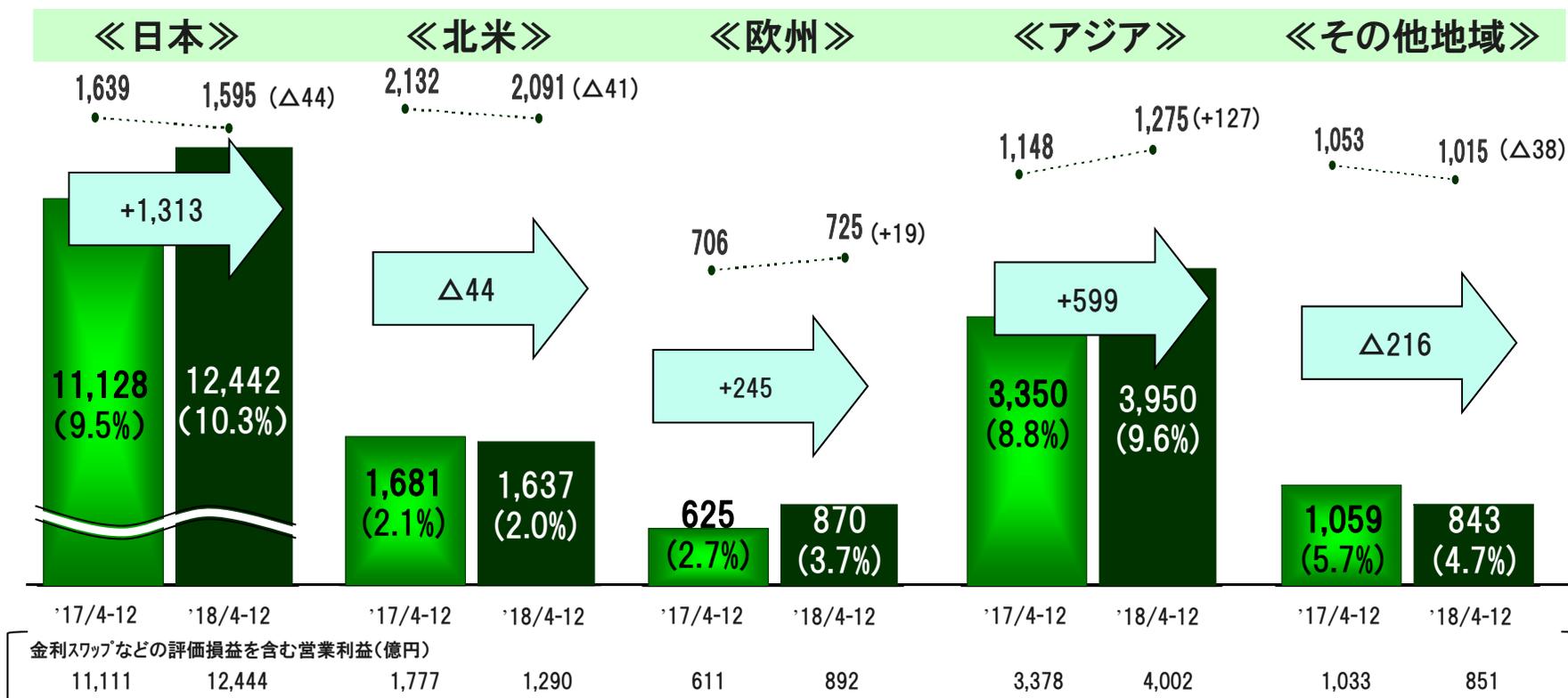
労務費	△500
減価償却費	△150
研究開発費	+100
経費ほか	+450

*4.内訳

スワップ評価損益ほか	△523
------------	------

所在地別営業利益（9ヶ月累計）

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> - - - 連結販売台数(千台)

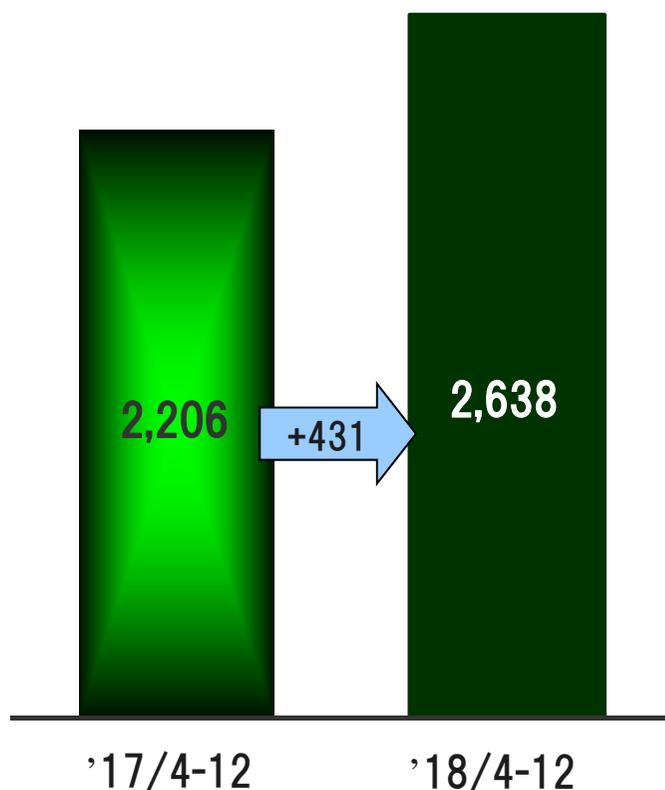


日本	(前年同期比+1,313億円)	原価改善・営業面の努力等により増益
北米	(前年同期比Δ44億円)	原材料市況の上昇等により減益
欧州	(前年同期比+245億円)	営業面の努力、諸経費の低減等により増益
アジア	(前年同期比+599億円)	営業面の努力等により増益
その他地域	(前年同期比Δ216億円)	現地通貨安、原材料市況上昇等により減益

金融セグメント営業利益（9ヶ月累計）

■ 営業利益(億円)*

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く



◇ 営業利益*
2,638億円(前年同期比 +431億円)

・融資残高の増加や、残価コストの減少等により増益

	'17/4-12	'18/4-12	増減
営業利益	2,273	2,376	+102
金利スワップ取引 などの評価損益	66	△262	△328
金利スワップ取引などの 評価損益を除く営業利益	2,206	2,638	+431

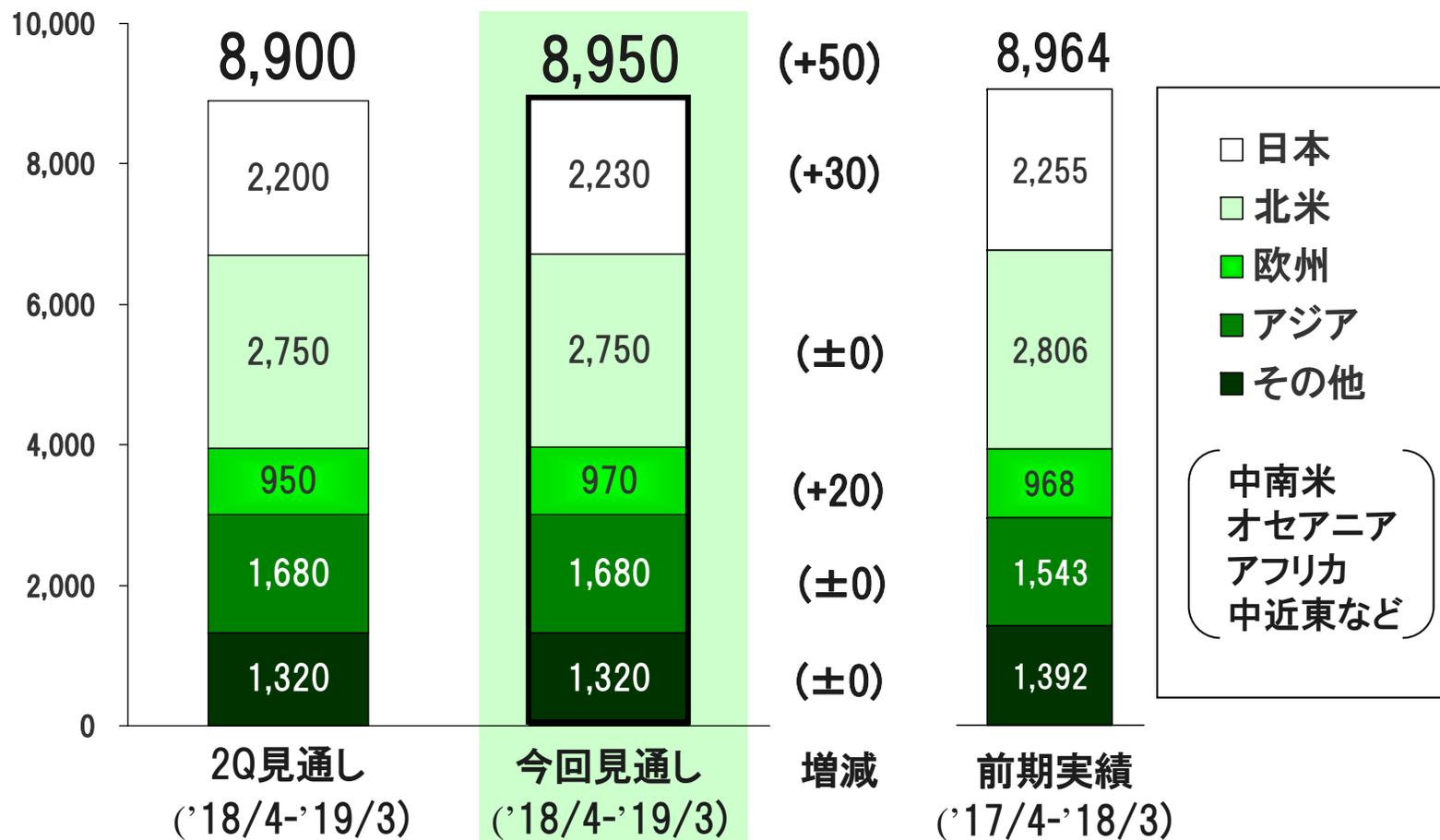
2019年3月期 第3四半期 決算説明会

2019年3月期 第3四半期 実績

2019年3月期 見通し

連結販売台数見通し

(単位:千台)



グループ総販売台数
(小売)

10,500

10,550

+50

10,441

連結決算見通し要約

(単位:億円)	今回 見通し (’18/4-’19/3)	2Q 見通し (’18/4-’19/3)	増減	前期実績 (’17/4-’18/3)
売上高	295,000	295,000	±0	293,795
営業利益	24,000	24,000	±0	23,998
営業利益率	8.1%	8.1%		8.2%
税引前利益	22,000	27,200	△5,200	26,204
持分法投資損益	3,700	4,600	△900	4,700
当期純利益 *1,2	18,700	23,000	△4,300	24,939
当期純利益率 *2	6.3%	7.8%		8.5%
為替 レート	米ドル *3 110円	110円	±0円	111円
	ユーロ *3 128円	130円	2円円高	130円

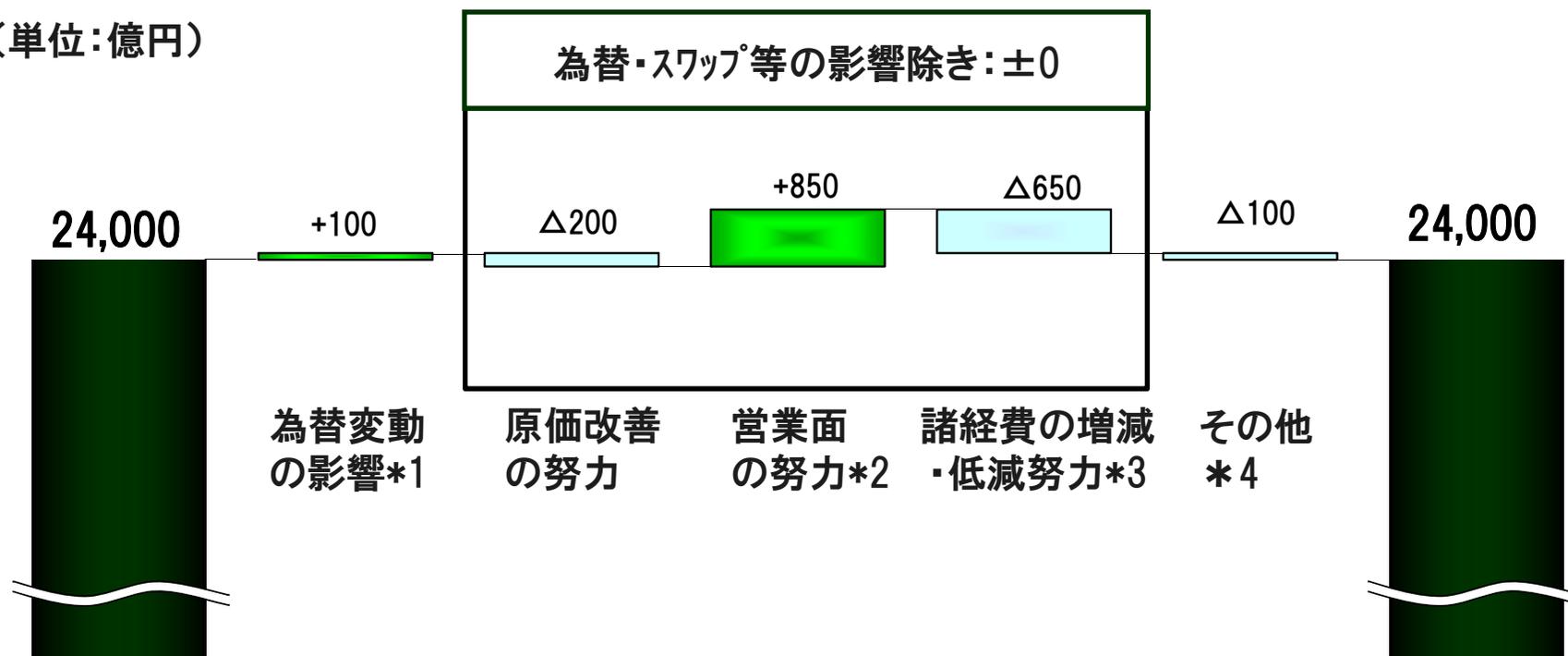
*1 当社株主に帰属する当期純利益

*2 未実現持分証券評価損益の影響△3,100億円〔今回見通し〕

*3 第3四半期累計実績:米ドル111円/ユーロ129円、’19年1月以降の前提為替レート:米ドル105円/ユーロ125円

連結営業利益見通し増減要因(2Q見通し差)

(単位:億円)



'19/3期 2Q見通し
〔 110円/米ドル
130円/ユーロ 〕

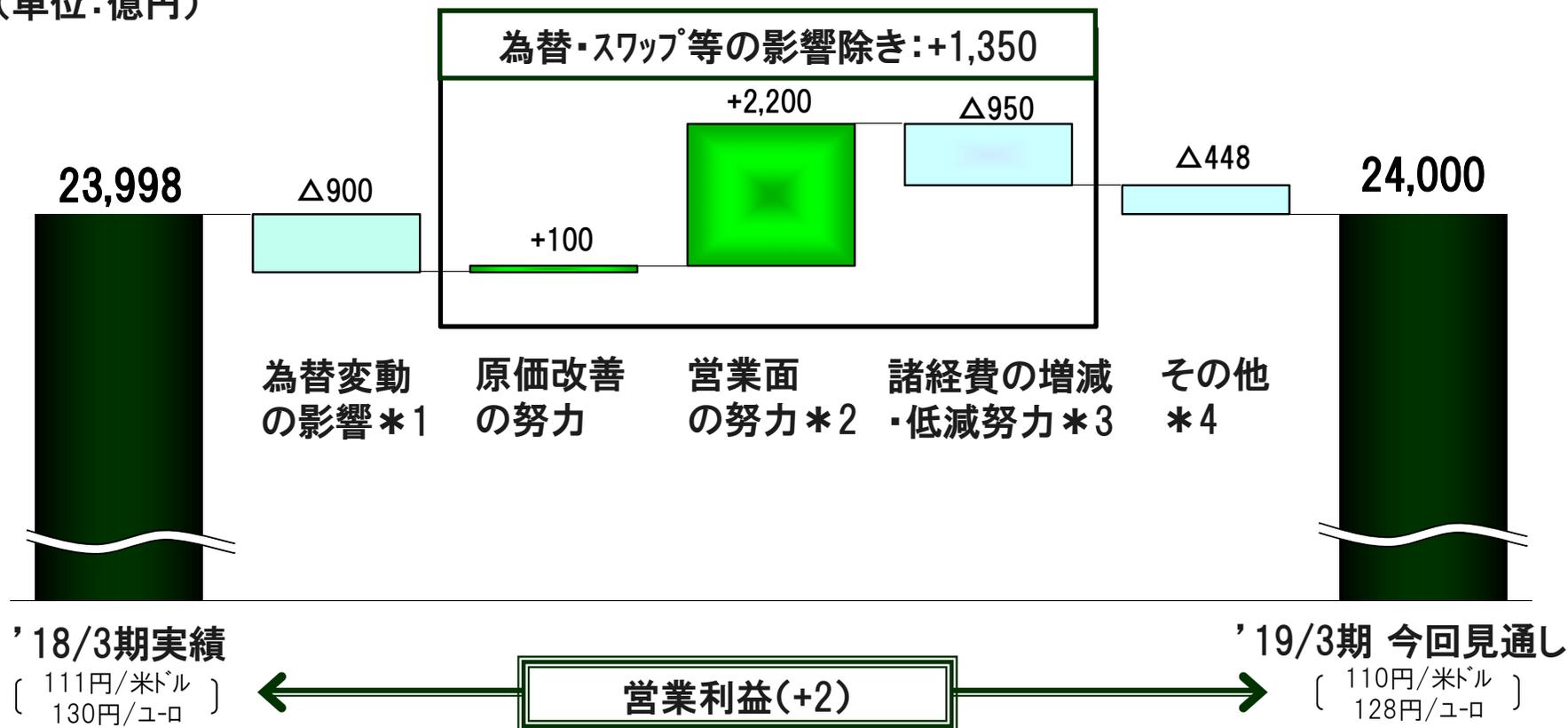
営業利益(±0)

'19/3期 今回見通し
〔 110円/米ドル
128円/ユーロ 〕

*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	Δ300	海外子会社の	Δ50	台数・構成	+400	労務費	Δ200
-米ドル	Δ150	営業利益換算差		金融事業	+250	減価償却費	±0
-ユーロ	Δ100	その他	+450	その他	+200	研究開発費	Δ100
-その他通貨	Δ50	(外貨建引当の期末換算差ほか)		(販売諸費用ほか)		経費ほか	Δ350
						スワップ評価損益	Δ100
						ほか	

連結営業利益見通し増減要因(前期差)

(単位:億円)



*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	Δ1,700	海外子会社の	Δ350	台数・構成	+850	労務費	Δ600
-米ドル	Δ550	営業利益換算差		金融事業	+450	減価償却費	Δ400
-ユーロ	Δ100	その他	+1,150	その他	+900	研究開発費	Δ350
-その他通貨	Δ1,050	(外貨建引当の期末換算差ほか)		(販売諸費用ほか)		経費ほか	+400
						スワップ評価損益	Δ448
						ほか	

競争力強化

競争力強化に向けた取り組み（決算発表にてご説明）

'18/2	'18/8	'18/11	'19/2
製造 （河合副社長）	開発 （吉田副社長）	販売/北米事業 （ルロ副社長/ レンツ執行役員）	コネクティッド/MaaS （友山副社長）

未来のモビリティ社会実現に向けた取り組み

（ ）は公表月

分野	リリース概要
電動化	・ パナソニックと車載用角形電池事業に関する合弁会社設立に合意（1月）
自動運転	・ 自動運転実験車「TRI-P4」をCESで公開、高度安全運転支援技術「Toyota Guardian」を説明（1月）
コネクティッド/MaaS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Grab車両向けに専用のトータルケアサービスを開発（12月） ・ ソフトバンクとの共同出資会社「MONET」の事業開始（2月） ・ 新会社「KINTO」サービス開始（2月）

2019年3月期 第3四半期 決算説明会

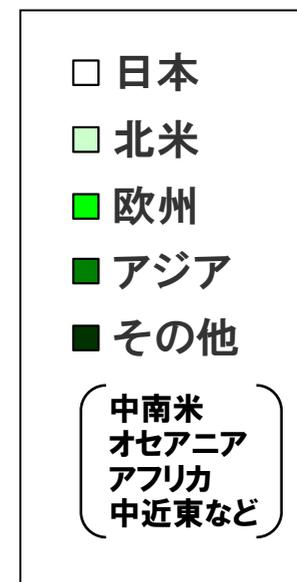
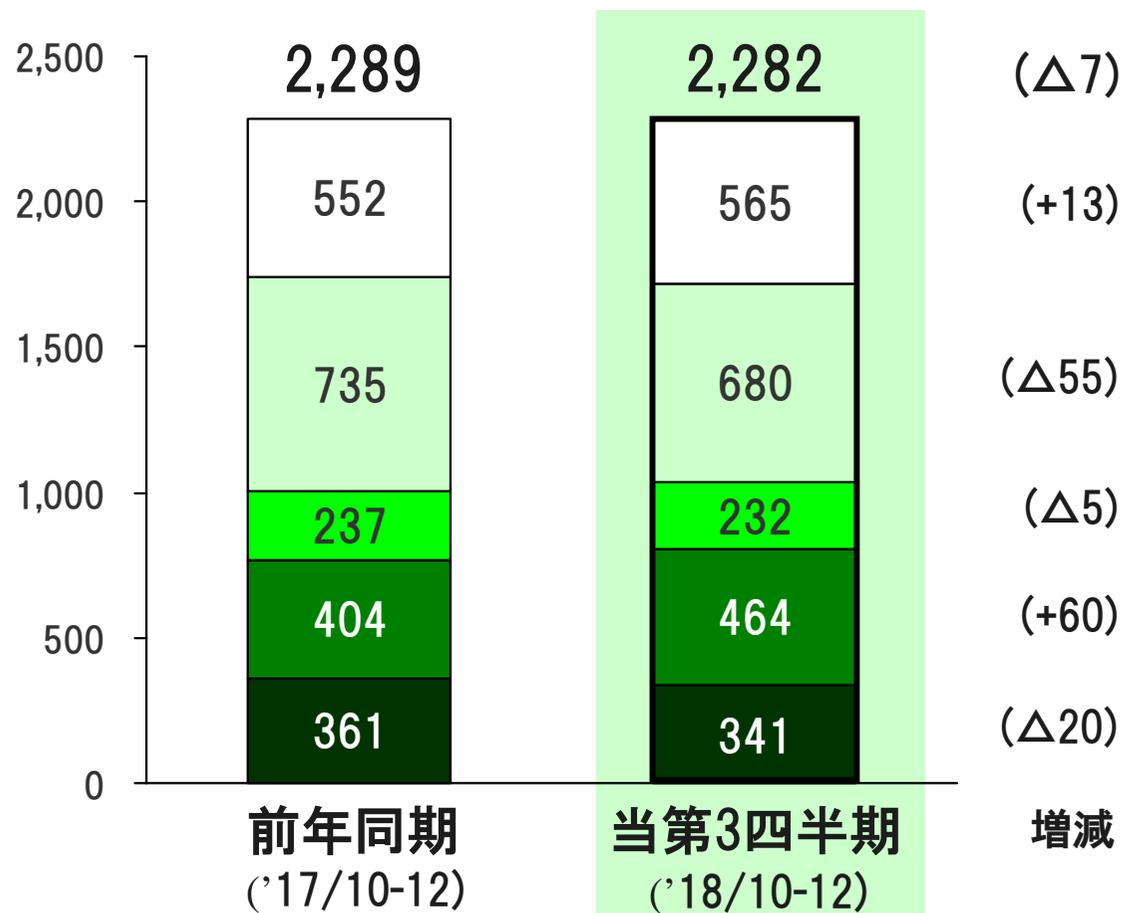


TRI-P4
(CES出展)

トヨタ自動車株式会社
2019年2月6日

(ご参考)連結販売台数 (3ヶ月)

(単位:千台)



グループ総販売台数 (小売)	2,631	2,707	+76
----------------	-------	-------	-----

(ご参考) 連結決算要約 (3ヶ月)

(単位:億円)		当第3四半期 (’18/10-12)	前年同期 (’17/10-12)	増減
売上高		78,015	76,057	+1,957
営業利益		6,761	6,736	+24
営業利益率		8.7%	8.9%	
営業外損益		△4,991	772	△5,764
税引前利益		1,769	7,509	△5,739
持分法投資損益 *1		322	1,238	△915
当期純利益	*2,3	1,809	9,418	△7,609
当期純利益率		2.3%	12.4%	
為替	米ドル	113円	113円	±0円
レート	ユーロ	129円	133円	4円円高

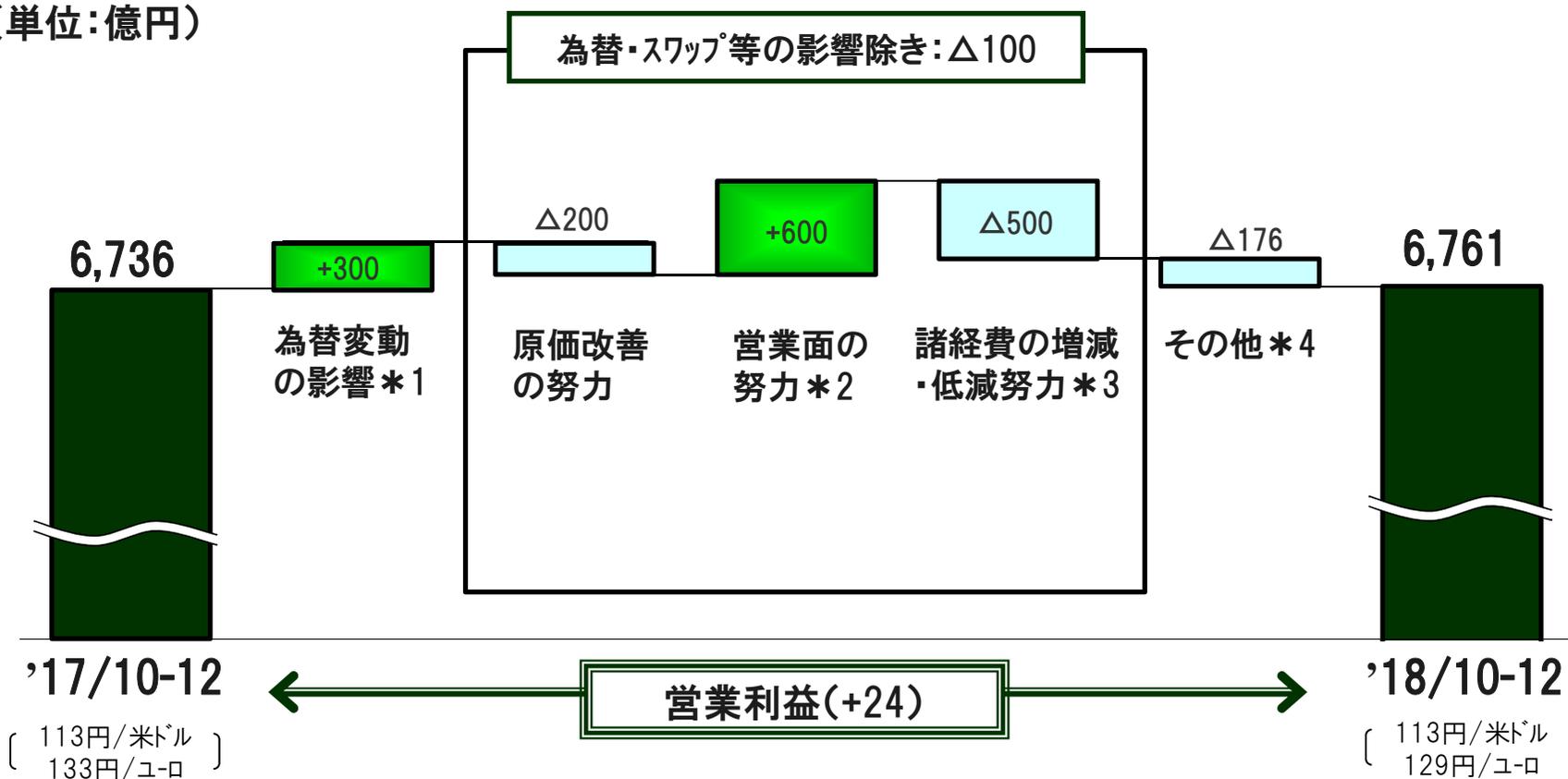
*1 うち、日本△40(前年同期比△950)、中国266(同+36)、その他96(同△2) [’18/10-12]

*2 当社株主に帰属する当期純利益

*3 米国税制改正の影響+2,919億円[’17/10-12]、
未実現持分証券評価損益の影響△3,954億円[’18/10-12]

(ご参考) 連結営業利益増減要因 (3ヶ月)

(単位:億円)



*1.内訳

輸出入等の外貨取引分	$\Delta 200$	海外子会社の	$\Delta 100$
(-米ドル)	± 0	営業利益換算差	
(-ユーロ)	$\Delta 50$	その他	$+600$
(-その他通貨)	$\Delta 150$	(外貨建引当の期末換算差ほか)	

*2.内訳

台数・構成	$\Delta 100$
金融事業	$+150$
その他	$+550$
(販売諸費用ほか)	

*3.内訳

労務費	$\Delta 250$
減価償却費	$\Delta 50$
研究開発費	$\Delta 150$
経費ほか	$\Delta 50$

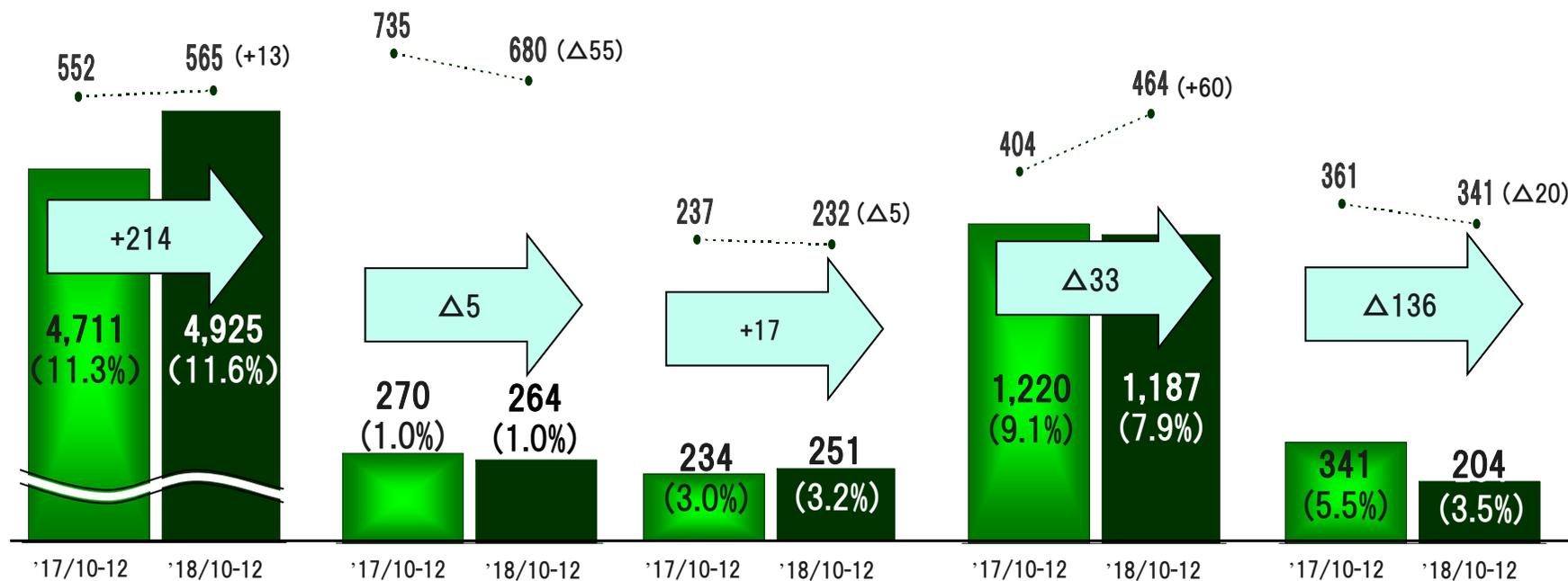
*4.内訳

スワップ評価損益ほか	$\Delta 176$
------------	--------------

(ご参考) 所在地別営業利益 (3ヶ月)

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> ●--- 連結販売台数(千台)

◀◀日本▶▶ ◀◀北米▶▶ ◀◀欧州▶▶ ◀◀アジア▶▶ ◀◀その他地域▶▶

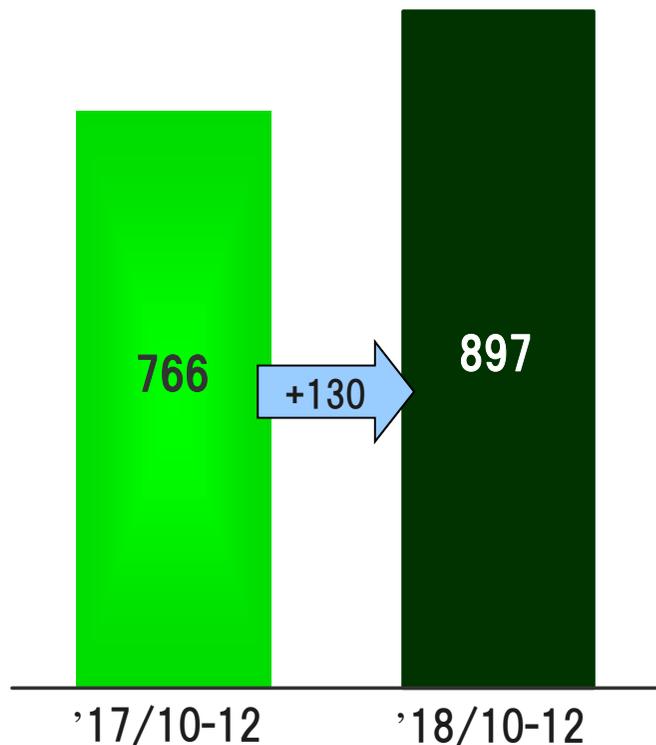


金利スワップなどの評価損益を含む営業利益(億円)									
4,706	4,942	331	181	233	279	1,236	1,167	330	191

(ご参考) 金融セグメント営業利益 (3ヶ月)

■ 営業利益(億円)*

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く

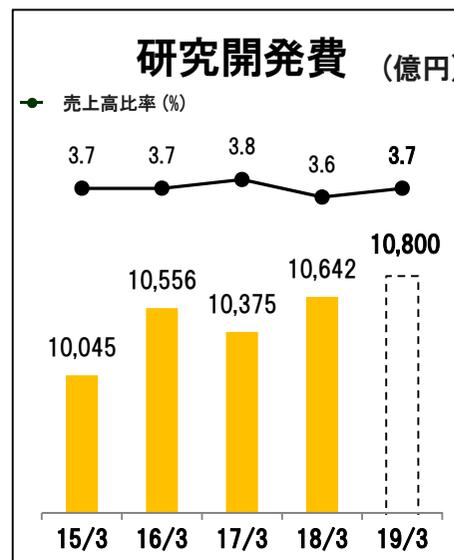
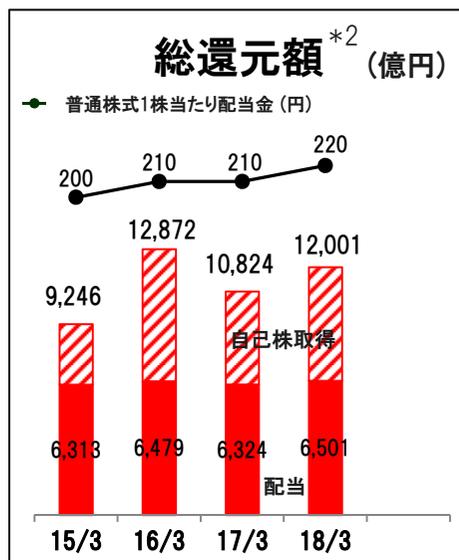
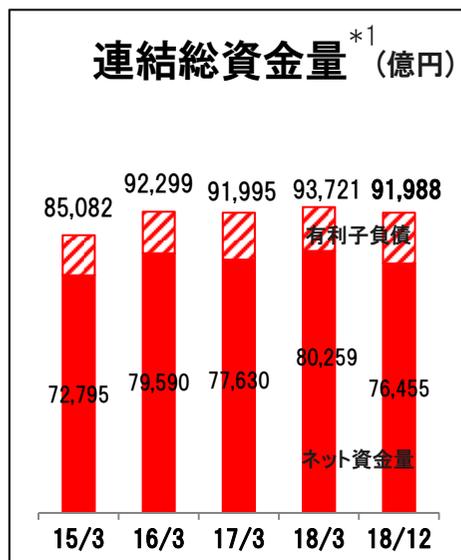
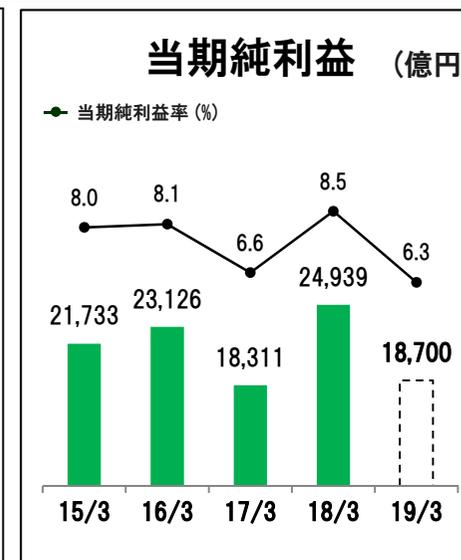
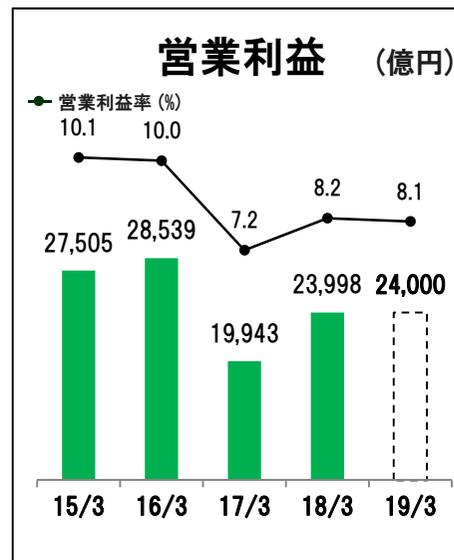
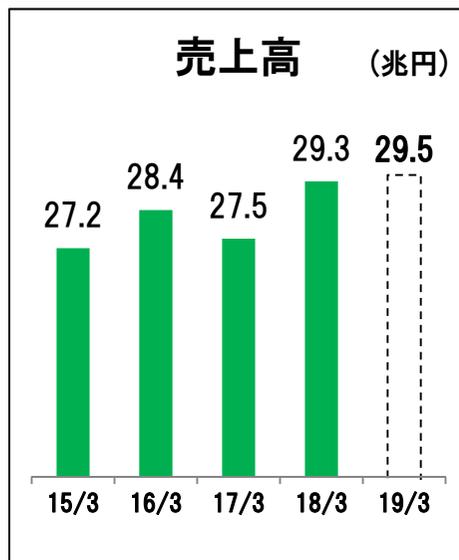
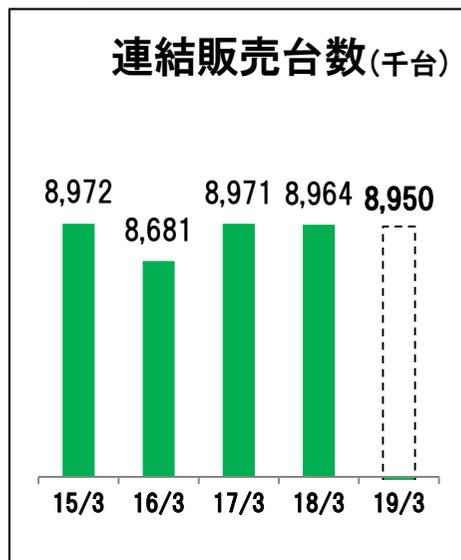


◇ 営業利益*
897億円(前年同期比 +130億円)

	'17/10-12	'18/10-12	増減
営業利益	826	826	±0
金利スワップ取引 などの評価損益	60	△70	△130
金利スワップ取引などの 評価損益を除く営業利益	766	897	+130

(ご参考) 業績推移

☐ 見通し



*1 総資金量：金融事業を除いた、現金及び現金同等物、定期預金、市場性ある負債証券および信託ファンドへの投資

*2 配当には第1回AA型種類株式への配当を含む

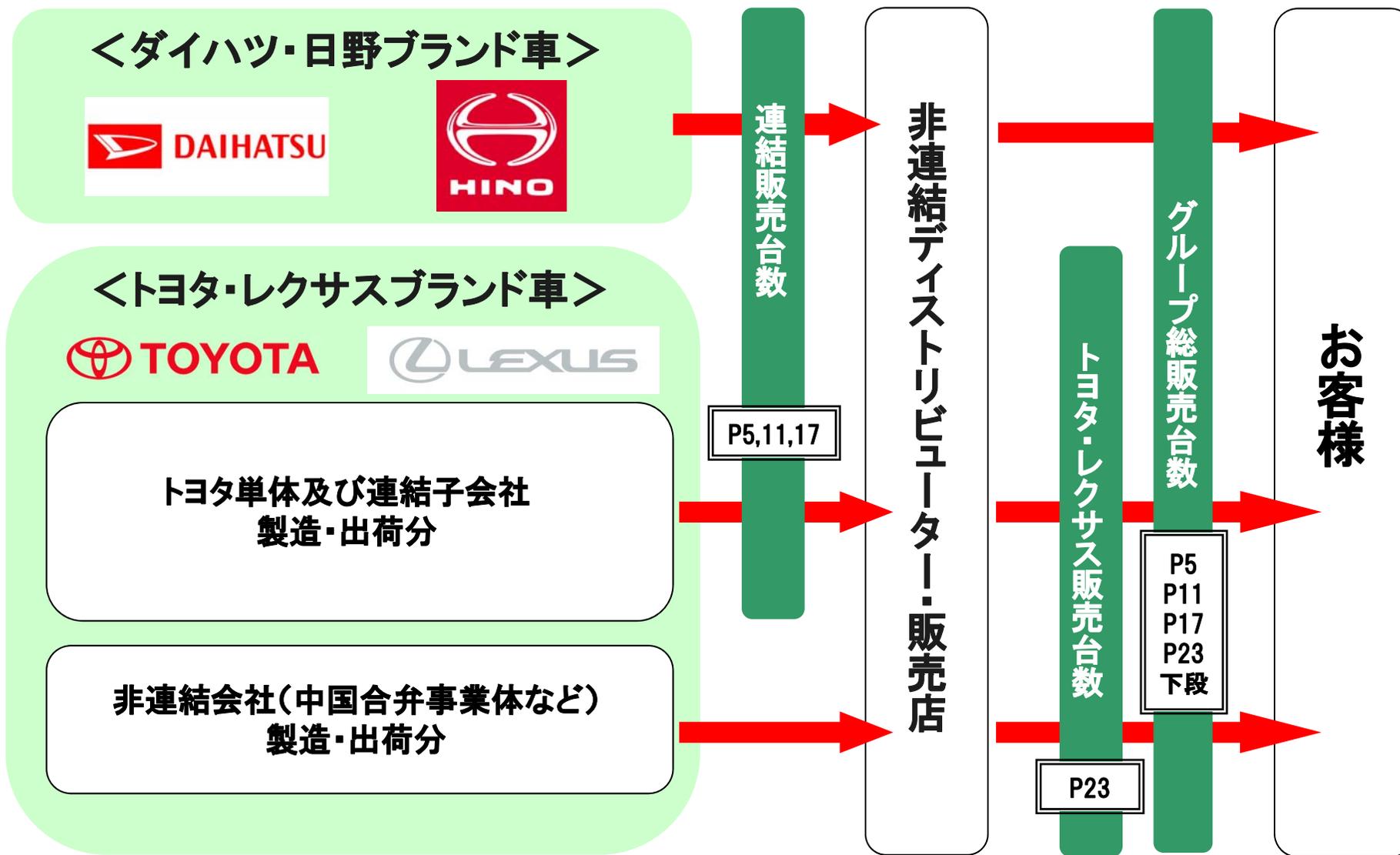
(ご参考) 台数見通し

(単位:千台)

			今回 見通し (’18/4-’19/3)	2Q 見通し (’18/4-’19/3)	増減
トヨタ・レクサス	生産 *1	国内	3,200	3,200	±0
		海外	5,700	5,700	±0
		合計	8,900	8,900	±0
	販売 (小売) *2	国内	1,540	1,540	±0
		海外	7,960	7,960	±0
		合計	9,500	9,500	±0
	輸出		1,940	1,940	±0
グループ総販売(小売)*2 … ダイハツ、日野ブランド含む			10,550	10,500	+50

*1. 非連結会社による生産台数を含む *2. 非連結会社による販売台数を含む

(ご参考) 販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り